

記者発表資料

令和4年1月14日（金）
国土交通省 関東地方整備局
北首都国道事務所

「R3国道298号川口市芝地区外函渠補修工事」において、「公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）」、「見積活用方式」を試行、「施工箇所が点在する工事の積算」、「難工事指定」等を採用します。

昨今、工事発注において予定価格超過や入札参加者がいないことなどを理由として、入札のとりやめや不調が予想される工事について不調・不落対策を試行・採用しております。

今回発注する「R3国道298号川口市芝地区外函渠補修工事」は、以下について試行・採用します。

【不調・不落対策の採用】

①「公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）」

競争参加者が少数と見込まれ、技術難易度が比較的低い工事について対象工事ごとに技術資料収集に係る公示資料の交付を受けて、競争参加希望者が参加表明確認申請書及び技術資料（参加要件は企業のみとして技術者要件を求めない。）を提出し、指名基準による選定を行い、指名された競争参加希望者により総合評価落札方式で落札者を決定するものです。

なお、総合評価は、災害活動実績を加算点としています。

②「見積活用方式」

本工事は、現道交通量が多く、函渠内での限られた狭隘な作業ヤード内での施工となる工事のため、作業効率が低下することが懸念されます。このため、入札者から見積の提出を求め、その価格の妥当性を検証のうえ、予定価格に反映する「見積活用方式」を試行します。

③「施工箇所が点在する工事の積算」

本工事は、施工箇所が点在するため、建設機械を運搬する費用や交通規制等がそれぞれの箇所で発生するなど、積算額と実際にかかる費用に乖離が考えられることから、箇所毎に共通仮設費、現場管理費の算出を行う「施工箇所が点在する工事の積算」を採用します。

④「難工事指定」

工事を適切に完成させた場合、その後の発注工事における総合評価項目「難工事施工実績評価対象工事（試行）」を加点対象とする「難工事指定」を採用します。

⑤「余裕期間制度（フレックス方式）」

受注者の円滑な工事施工体制の確保を図るため、事前に建設資材、労働者確保等の準備を行うことができる余裕期間を設定する制度です。

記者発表クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、埼玉県政記者クラブ
茨城県政記者クラブ、さいたま市政記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 北首都国道事務所 電話：048-942-4041（代表）
副所長：菅原 宣治（すがわら のぶはる）
住 所：埼玉県草加市花栗3-24-15

かわぐち しば かんきよ
R3国道298号川口市芝地区外函渠補修工事

《工事概要》

- (1) 工事場所：埼玉県川口市芝地先外1箇所
- (2) 工期：契約締結の翌日から令和4年12月16日まで
- (3) 入札方式：公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）
- (4) 工事種別：維持修繕工事
- (5) 工事内容（概要）：

[芝地下道(1)、(2)、(3)]

- ・延長L=155m
- ・ひび割れ補修工 約 57m
- ・表面保護工 約2,700㎡
- ・剥落防止工 約 13㎡

あんぎょう

[安行地下道]

- ・延長L=84m
- ・ひび割れ補修工 約 79m
- ・表面保護工 約1,230㎡
- ・剥落防止工 約 3㎡

- (6) 「公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）」

競争参加者が少数と見込まれ、技術難易度が比較的低い工事について対象工事ごとに技術資料収集に係る公示資料の交付を受けて、競争参加希望者が参加表明確認申請書及び技術資料（参加要件は企業のみとして技術者要件を求めない。）を提出し、指名基準による選定を行い、指名された競争参加希望者により総合評価落札方式で落札者を決定するものです。

なお、総合評価は、災害活動実績を加算点としています。

- (7) 「見積活用方式」について

○見積の提出を求める工種

- ・直接工事費のうち、ひび割れ補修工（低圧注入工法）

○見積の提出を求める理由

- ・施工箇所は、沿道に住宅等が連担し交通量も多い箇所です。

施工にあたっては、現道交通を確保しながら、函渠内の限られた狭隘な作業ヤード内での施工とならなければならず、作業効率の低下に伴い、標準的な積算と実勢価格に乖離が生じることが考えられるため、入札者から見積の提出を求め、その価格の妥当性を検証の上、予定価格に反映する「見積活用方式」を試行します。

- (8) 「施工箇所が点在する工事の積算」について

○点在する工事箇所

- ・川口市芝地区（芝地下道(1)、(2)、(3)）
- ・川口市安行領家地区（安行地下道）

(9) 「難工事指定」

本工事は、現道交通を確保しながら、函渠内の限られた狭隘な作業ヤード内での施工となるため、「難工事指定」を採用します。

「難工事指定」された工事は、完成時に70点以上の工事成績評定を通知された場合、今後発注される「難工事施工実績評価対象工事（試行）」の総合評価の評価項目において加点対象となります。

(10) 「余裕期間制度（フレックス方式）」

本工事は、受注者の円滑な工事施工体制の確保を図るため、事前に建設資材、労働者確保等の準備を行うことができる余裕期間を設定した工事であり、令和4年12月16日までの間で、受注者は工事の始期及び終期を任意に設定することができます。

なお、工事の始期までの余裕期間内は、監理技術者等の配置が不要となります。

《スケジュール》

○入札公示、入札説明書 交付	: 令和4年 1月14日 (金)
○技術資料等の受付期限	: 令和4年 1月28日 (金)
○入札書、工事費内訳書 提出期限	: 令和4年 3月 1日 (火)
○開札日	: 令和4年 3月 4日 (金)

公募型指名競争入札方式(総合評価落札方式)の試行について

対象は
一般土木
C,B+C工事
維持修繕等

【メリット】

- ✓ 施工体制確保→発注工事の公募
- ✓ 資料は参加希望の意思確認時のみの提出
→資料の簡素化、合理化(個別発注時では不要)
- ✓ 手続期間の短縮
→指名通知から決定まで2週間程度
- ✓ 指名競争・総合評価落札方式
→災害協定の締結や活動に係るインセンティブの向上

公示
(工事内容・入札時期・落札方式等)

工事参加希望の意思確認・技術資料の提出
(参加意思表明申請書+必要資料の提出)

参加要件は企業とし、
技術者要件は求めない

指名基準による選定

発注(指名通知)

以降は指名競争・総合評価
落札方式の手続き

指名競争・総合評価落札方式により落札決定

標準点100点+加算点(10点)+施工体制
評価点(30点)÷入札価格=評価値
※加算点は災害活動実績

公募による企業の参加

公募結果に基づく指名

災害協定の締結や活動に
係るインセンティブの向上